

# 2019年3月期 決算説明資料

2019年5月14日

近鉄グループホールディングス株式会社  
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

2019年3月期 決算概要 …… 2

2020年3月期 業績予想 …… 16

# 2019年3月期 決算概要

# 連結損益計算書

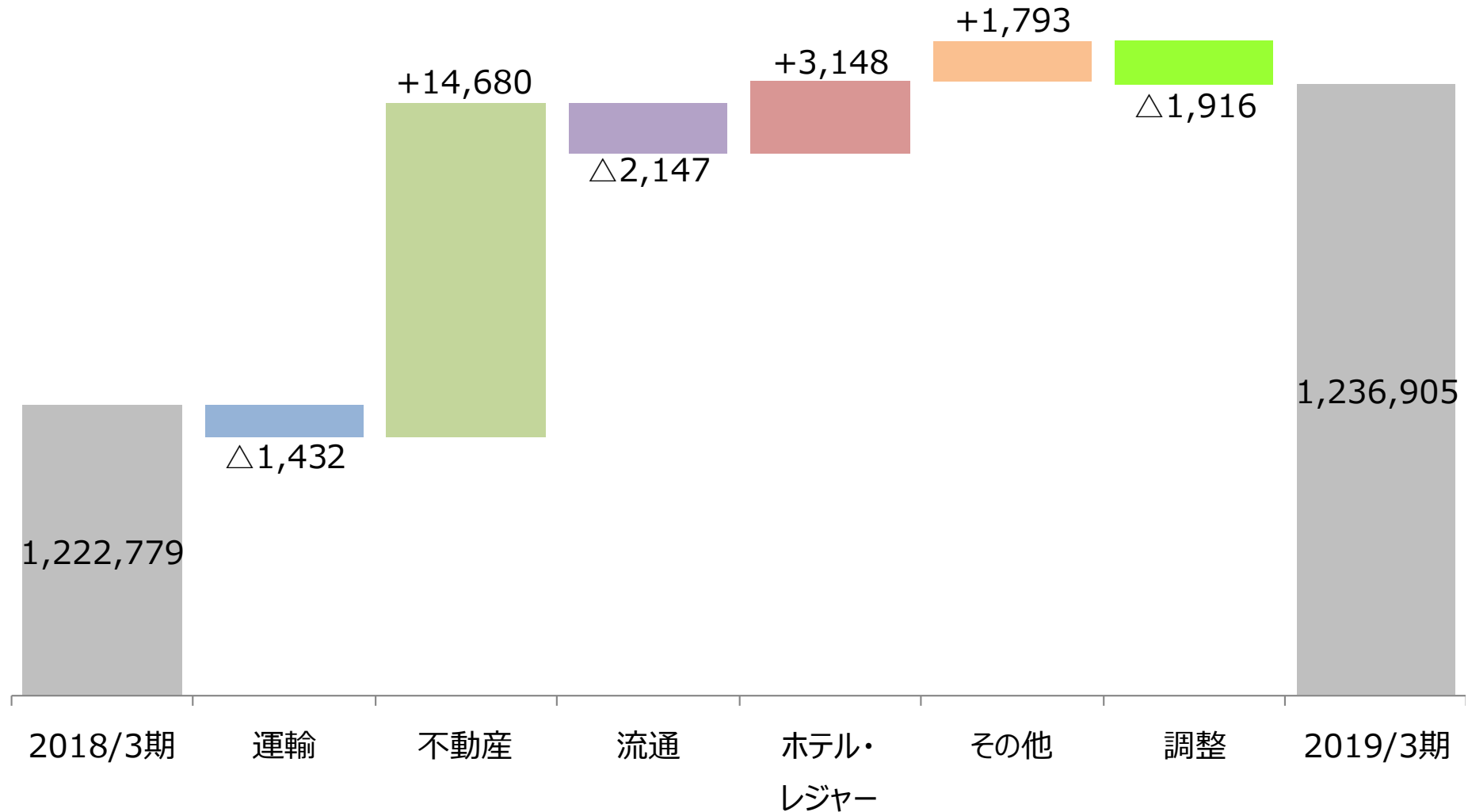
(単位：百万円,%)

	2018/3期	2019/3期	増減	増減率	増減要因	2019/3期予想 (2018年11月公表)	増減
営業収益	1,222,779	<b>1,236,905</b>	14,125	1.2	「セグメント別業績」参照	1,238,000	△ 1,094
営業利益	64,643	<b>67,779</b>	3,136	4.9	「セグメント別業績」参照	64,000	3,779
営業外収益	9,559	<b>11,533</b>	1,973	20.6			
うち持分法による投資利益	5,976	<b>7,140</b>	1,164	19.5			
営業外費用	12,879	<b>12,183</b>	△ 696	△ 5.4			
うち支払利息	9,485	<b>8,611</b>	△ 874	△ 9.2			
経常利益	61,323	<b>67,129</b>	5,805	9.5		62,000	5,129
特別利益	7,310	<b>9,061</b>	1,750	23.9	収用補償金 1,305		
特別損失	18,139	<b>20,669</b>	2,529	13.9	収用等圧縮損 1,213 固定資産除却損 766		
親会社株主に帰属する 当期純利益	29,614	<b>35,962</b>	6,348	21.4		33,000	2,962
連結子会社数	82社（前期末比3社減）		持分法適用会社数		8社（前期末比増減なし）		

# 決算ポイント（営業収益）

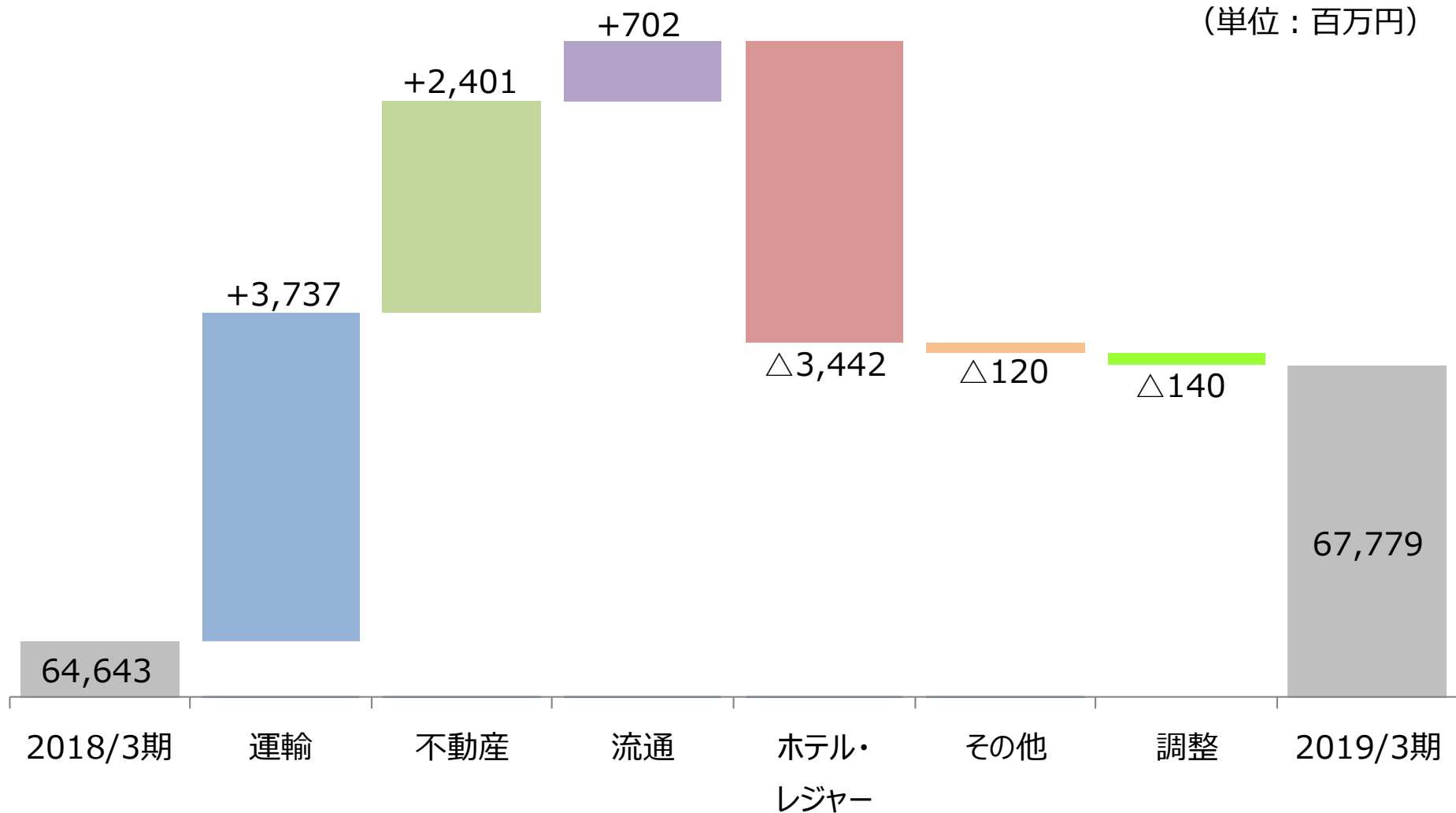
運輸業で大阪北部地震や台風等の自然災害により鉄軌道部門が減収となったが、不動産業でマンション販売戸数が増加したことや、ホテル・レジャー業で海外旅行の販売が好調であったため、連結全体で増収

（単位：百万円）



# 決算ポイント（営業利益）

運輸業で鉄軌道部門における費用が減少したほか、不動産業で販売部門や賃貸部門が好調であったため、ホテル・レジャー業でのホテルの改装に伴う客室の一部売り止めや費用の増加を吸収し、連結全体で増益



# セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2018/3期	2019/3期	増減	増減率	2019/3期予想 (2018年11月公表)	増減
運 輸	営業収益	228,186	<b>226,754</b>	△ 1,432	△ 0.6	224,000	2,754
	営業利益	29,206	<b>32,943</b>	3,737	12.8	30,600	2,343
不 動 産	営業収益	149,565	<b>164,245</b>	14,680	9.8	167,000	△ 2,754
	営業利益	16,297	<b>18,698</b>	2,401	14.7	18,100	598
流 通	営業収益	395,817	<b>393,670</b>	△ 2,147	△ 0.5	392,000	1,670
	営業利益	7,080	<b>7,783</b>	702	9.9	7,500	283
ホテル・レジャー	営業収益	478,669	<b>481,818</b>	3,148	0.7	484,000	△ 2,181
	営業利益	9,627	<b>6,185</b>	△ 3,442	△ 35.8	5,500	685
そ の 他	営業収益	16,380	<b>18,174</b>	1,793	10.9	17,000	1,174
	営業利益	1,611	<b>1,491</b>	△ 120	△ 7.5	1,500	△ 8
調 整	営業収益	△ 45,840	△ <b>47,757</b>	△ 1,916		△ 46,000	△ 1,757
	営業利益	818	<b>677</b>	△ 140		800	△ 122
連 結	営業収益	1,222,779	<b>1,236,905</b>	14,125	1.2	1,238,000	△ 1,094
	営業利益	64,643	<b>67,779</b>	3,136	4.9	64,000	3,779

(単位：百万円,%)

	2018/3期	2019/3期	増減	増減率
営業収益	228,186	<b>226,754</b>	△ 1,432	△ 0.6
鉄軌道	158,089	<b>156,444</b>	△ 1,644	△ 1.0
バス	34,677	<b>34,636</b>	△ 41	△ 0.1
タクシー	11,497	<b>11,537</b>	39	0.3
鉄道施設整備	27,655	<b>28,347</b>	692	2.5
その他運輸関連	22,032	<b>21,426</b>	△ 605	△ 2.7
調整	△ 25,764	△ <b>25,637</b>	127	
営業利益	29,206	<b>32,943</b>	3,737	12.8
(主な内訳) 鉄軌道	26,222	<b>30,001</b>	3,779	14.4
(主な内訳) バス	1,097	<b>997</b>	△ 100	△ 9.1

### 《鉄軌道》

- 営業収益は、大阪北部地震や台風など相次ぐ自然災害の影響が大きく、一昨年10月の台風接近による反動増はあったものの減収
- 営業利益は、退職給付費用が減少したこと等もあり増益



	2018/3期	2019/3期	増 減	増減率(%)
輸送人員 (千人)	578,375	<b>578,037</b>	△ 338	△ 0.1
定期外	236,583	<b>235,556</b>	△ 1,027	△ 0.4
定期	341,792	<b>342,481</b>	689	0.2
営業収益 (百万円)	157,330	<b>156,444</b>	△ 886	△ 0.6
旅客収入	149,912	<b>149,292</b>	△ 620	△ 0.4
定期外収入	102,376	<b>101,687</b>	△ 688	△ 0.7
定期収入	47,536	<b>47,605</b>	68	0.1
運輸雑収等	7,417	<b>7,151</b>	△ 266	△ 3.6
営業利益 (百万円)	26,180	<b>30,001</b>	3,820	14.6

(単位：百万円,%)

	2018/3期	2019/3期	増減	増減率
営業収益	149,565	<b>164,245</b>	14,680	9.8
不動産販売	68,308	<b>77,725</b>	9,416	13.8
不動産賃貸	45,849	<b>47,374</b>	1,524	3.3
不動産管理	40,966	<b>43,408</b>	2,442	6.0
調整	△ 5,558	△ <b>4,262</b>	1,296	
営業利益	16,297	<b>18,698</b>	2,401	14.7
(主な内訳) 不動産販売	4,050	<b>5,298</b>	1,248	30.8
(主な内訳) 不動産賃貸	10,909	<b>11,892</b>	983	9.0

## 《不動産販売》

- ・ マンション販売戸数が増加したことにより増収増益

## 《不動産賃貸》

- ・ 主要賃貸物件が堅調であったこと等により賃貸料が増加したことに加え、保有資産の売却もあり増収増益

(単位：百万円,%)

	2018/3期	2019/3期	増減	増減率
営業収益	395,817	<b>393,670</b>	△ 2,147	△ 0.5
百貨店	281,817	<b>282,220</b>	402	0.1
ストア・飲食	115,286	<b>112,647</b>	△ 2,638	△ 2.3
調整	△ 1,286	△ <b>1,198</b>	88	
営業利益	7,080	<b>7,783</b>	702	9.9
(主な内訳) 百貨店	4,837	<b>5,812</b>	975	20.2
(主な内訳) スタア・飲食	2,240	<b>1,970</b>	△ 270	△ 12.1

#### 《百貨店》

- インバウンドに訴求力のあるショップの拡充や特選ブランドの低層階への集積等の施策により「あべのハルカス近鉄本店」が堅調に推移したため増収増益

#### 《ストア・飲食》

- コンビニエンスストアやスーパーマーケットの店舗の閉鎖や改装に伴う休業により減収減益

(単位：百万円,%)

	2018/3期	2019/3期	増 減	増 減 率
営業収益	478,669	<b>481,818</b>	3,148	0.7
ホテル	61,183	<b>57,389</b>	△ 3,793	△ 6.2
旅行	405,172	<b>411,821</b>	6,649	1.6
映画	3,544	<b>3,618</b>	73	2.1
水族館	9,015	<b>9,175</b>	160	1.8
調整	△ 246	△ <b>186</b>	59	
営業利益	9,627	<b>6,185</b>	△ 3,442	△ 35.8
(主な内訳)				
ホテル	4,473	<b>1,481</b>	△ 2,992	△ 66.9
旅行	3,177	<b>2,532</b>	△ 645	△ 20.3
水族館	1,771	<b>1,975</b>	203	11.5

## 《ホテル》

- 「沖縄都ホテル」の売却や、「ウェスティン都ホテル京都」の大規模リニューアル工事による客室の一部売り止めに加え、改装に伴う費用の増加もあり減収減益

## 《旅行》

- 海外旅行の販売が好調であったため増収となったが、競争激化による利益率の低下により減益

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増 減	増 減 要 因
流動資産	282,328	<b>289,716</b>	7,387	団体旅行前払金 4,183 未収入金 3,684
固定資産	1,628,999	<b>1,643,828</b>	14,829	設備投資 78,229 減価償却費 △52,196 減損損失 △7,931
資産合計	1,914,480	<b>1,936,417</b>	21,937	
流動負債	559,904	<b>576,515</b>	16,611	1年以内償還社債 29,200 団体旅行前受金 9,145 未払金 7,821 短期借入金 △35,242
固定負債	960,337	<b>946,851</b>	△ 13,486	社債 △20,640 長期借入金 2,356
負債合計	1,520,242	<b>1,523,367</b>	3,125	
純資産合計	394,238	<b>413,050</b>	18,812	
うち利益剰余金	75,734	<b>102,039</b>	26,304	純利益 35,962 配当金 △ 9,525 土地再評価差額金取崩 △ 133
うちその他の包括利益累計額	103,581	<b>93,238</b>	△ 10,342	
負債・純資産合計	1,914,480	<b>1,936,417</b>	21,937	
借入金・社債残高	1,080,230	<b>1,055,904</b>	△ 24,325	
借入金	769,150	<b>736,264</b>	△ 32,885	
社債	311,080	<b>319,640</b>	8,560	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,798	<b>102,319</b>	13,521
うち、税金等調整前当期純利益	50,494	<b>55,521</b>	5,026
うち、売上債権の増減額	△ 83	△ <b>3,824</b>	△ 3,741
うち、たな卸資産の増減額	△ 5,416	<b>4,582</b>	9,999
うち、法人税等の支払額	△ 18,010	△ <b>12,695</b>	5,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 50,796	△ <b>64,148</b>	△ 13,351
うち、投資有価証券の売却	355	<b>1,576</b>	1,220
うち、固定資産の取得による支出	△ 54,396	△ <b>73,474</b>	△ 19,078
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 36,891	△ <b>38,905</b>	△ 2,013
うち、借入金・社債の増減額	△ 20,703	△ <b>24,558</b>	△ 3,854
現金及び現金同等物の増減額	858	△ <b>611</b>	△ 1,470
現金及び現金同等物の期首残高	51,914	<b>52,763</b>	849
現金及び現金同等物の期末残高	52,763	<b>52,089</b>	△ 674

# 設備投資 借入金・社債残高

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減	増減要因
設備投資	54,057	<b>78,229</b>	24,172	
運輸	24,868	<b>27,970</b>	3,101	
(うち鉄軌道)	(21,282)	<b>(24,821)</b>	(3,538)	
不動産	15,583	<b>34,927</b>	19,343	「近鉄博多ビル」建設、「都シティ東京高輪」リース取得、 「近鉄銀座中央通りビルⅡ・Ⅲ」取得
流通	6,038	<b>7,739</b>	1,700	
ホテル・レジャー	5,526	<b>6,004</b>	478	
その他	1,612	<b>1,254</b>	△ 357	
調整	427	<b>333</b>	△ 94	
借入金・社債残高	1,080,230	1,055,904	△ 24,325	
EBITDA	117,182	119,975	2,793	
借入金・社債 / EBITDA	9.2	8.8	△ 0.4	

# 減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2018/3期	2019/3期	増 減
運 輸	減価償却費	27,263	<b>27,185</b>	△ 78
	EBITDA	56,469	<b>60,128</b>	3,658
不 動 産	減価償却費	11,429	<b>11,558</b>	129
	EBITDA	27,727	<b>30,257</b>	2,530
流 通	減価償却費	7,165	<b>7,049</b>	△ 115
	EBITDA	14,246	<b>14,833</b>	586
ホテル・レジャー	減価償却費	4,168	<b>4,392</b>	223
	EBITDA	13,796	<b>10,577</b>	△ 3,219
そ の 他	減価償却費	1,836	<b>1,728</b>	△ 108
	EBITDA	3,448	<b>3,219</b>	△ 229
調 整	減価償却費	674	<b>281</b>	△ 392
	EBITDA	1,492	<b>959</b>	△ 533
連 結	減価償却費	52,538	<b>52,196</b>	△ 342
	EBITDA	117,182	<b>119,975</b>	2,793

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費



# 2020年3月期 業績予想

(単位：百万円,%)

	2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減	増 減 率
営業収益	1,236,905	<b>1,249,000</b>	12,094	1.0
営業利益	67,779	<b>65,000</b>	△ 2,779	△ 4.1
経常利益	67,129	<b>65,000</b>	△ 2,129	△ 3.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	35,962	<b>36,000</b>	37	0.1
持分法による投資利益	7,140	<b>7,500</b>	359	5.0
支払利息	8,611	<b>9,000</b>	388	4.5

【主な増減要因】 ※営業収益・営業利益は次ページ以降をご参照ください

経常利益	営業減益により減益見込み
親会社株主に帰属 する当期純利益	減損損失の減少により前期並みを予想

# セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増減	増減率
運 輸	営業収益	226,754	<b>227,000</b>	245	0.1
	営業利益	32,943	<b>31,800</b>	△ 1,143	△ 3.5
不 動 産	営業収益	164,245	<b>168,000</b>	3,754	2.3
	営業利益	18,698	<b>17,500</b>	△ 1,198	△ 6.4
流 通	営業収益	393,670	<b>388,000</b>	△ 5,670	△ 1.4
	営業利益	7,783	<b>7,000</b>	△ 783	△ 10.1
ホテル・レジャー	営業収益	481,818	<b>494,000</b>	12,181	2.5
	営業利益	6,185	<b>6,100</b>	△ 85	△ 1.4
そ の 他	営業収益	18,174	<b>19,000</b>	825	4.5
	営業利益	1,491	<b>1,400</b>	△ 91	△ 6.1
調 整	営業収益	△ 47,757	△ <b>47,000</b>	757	
	営業利益	677	<b>1,200</b>	522	
連 結	営業収益	1,236,905	<b>1,249,000</b>	12,094	1.0
	営業利益	67,779	<b>65,000</b>	△ 2,779	△ 4.1

# 主な増減要因

## 《運 輸》

- 営業収益は、鉄軌道部門で、本年10月に予定される消費税率引き上げによる影響を見込むものの、前期の自然災害による減収の反動増に加え、大型連休による行楽需要や改元による伊勢志摩方面への誘客等を織り込み増収予想
- 営業利益は、鉄軌道部門での減価償却費や動力費の増加により減益見込み

## 《不動産》

- 不動産販売部門で、マンション販売戸数の増加により増収を見込むが、売上原価や販売経費の増加も見込まれるため減益予想

## 《流 通》

- 百貨店部門で、中国の景気減速など、不透明な海外情勢を勘案して免税売上高を保守的に見込むほか、消費税率引き上げの影響を織り込み減収減益予想

## 《ホテル・レジャー》

- 営業収益は、ホテル部門で、本年2月に開業した「都シティ東京高輪」や本年9月に開業予定の「都ホテル博多」の収益貢献を見込むほか、旅行部門で、大型連休に関連した需要の取り込みに加え、海外旅行が好調に推移することを見込み増収予想
- 営業利益は、旅行部門で増益を見込むも、ホテル部門での改装費用や新規開業費用の増加により概ね前期並みの予想

	2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減	増減率(%)
輸送人員 (千人)	578,037	<b>576,852</b>	△ 1,185	△ 0.2
定期外	235,556	<b>236,474</b>	918	0.4
定期	342,481	<b>340,378</b>	△ 2,103	△ 0.6
営業収益 (百万円)	156,444	<b>156,500</b>	55	0.0
旅客収入	149,292	<b>149,732</b>	440	0.3
定期外収入	101,687	<b>102,380</b>	693	0.7
定期収入	47,605	<b>47,352</b>	△ 252	△ 0.5
運輸雑収等	7,151	<b>6,767</b>	△ 384	△ 5.4
営業利益 (百万円)	30,001	<b>28,700</b>	△ 1,301	△ 4.3

# 設備投資 借入金・社債残高

(単位：百万円,倍)

	2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減
設備投資	78,229	<b>85,000</b>	6,770
運 輸	27,970	<b>33,000</b>	5,029
(うち鉄軌道)	(24,821)	<b>(25,000)</b>	(178)
不動産	34,927	<b>25,000</b>	△ 9,927
流 通	7,739	<b>13,000</b>	5,260
ホテル・レジャー	6,004	<b>10,000</b>	3,995
その他	1,254	<b>2,000</b>	745
調 整	333	<b>2,000</b>	1,666
借入金・社債残高	1,055,904	<b>1,050,000</b>	△ 5,904
EBITDA	119,975	<b>121,000</b>	1,024
借入金・社債 / EBITDA	8.8	<b>8.7</b>	△ 0.1

# 減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減
運 輸	減価償却費	27,185	<b>29,000</b>	1,814
	EBITDA	60,128	<b>60,800</b>	671
不 動 産	減価償却費	11,558	<b>12,000</b>	441
	EBITDA	30,257	<b>29,500</b>	△ 757
流 通	減価償却費	7,049	<b>7,500</b>	450
	EBITDA	14,833	<b>14,500</b>	△ 333
ホテル・レジャー	減価償却費	4,392	<b>5,000</b>	607
	EBITDA	10,577	<b>11,100</b>	522
そ の 他	減価償却費	1,728	<b>2,000</b>	271
	EBITDA	3,219	<b>3,400</b>	180
調 整	減価償却費	281	<b>500</b>	218
	EBITDA	959	<b>1,700</b>	740
連 結	減価償却費	52,196	<b>56,000</b>	3,803
	EBITDA	119,975	<b>121,000</b>	1,024

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

# 【参考】連結業績予想（第2四半期累計期間）

(単位：百万円)

	2019/3期 第2四半期実績	2020/3期 第2四半期予想	増 減	増 減 率
営業収益	601,126	<b>605,000</b>	3,873	0.6
営業利益	33,707	<b>30,000</b>	△ 3,707	△ 11.0
経常利益	33,678	<b>29,000</b>	△ 4,678	△ 13.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,467	<b>17,000</b>	△ 4,467	△ 20.8
持分法による投資利益	3,922	<b>3,000</b>	△ 922	△ 23.5
支払利息	4,364	<b>4,500</b>	135	3.1



# 【参考】セグメント別業績（第2四半期累計期間）

（単位：百万円）

		2019/3期 第2四半期実績	2020/3期 第2四半期予想	増 減	増 減 率
運 輸	営業収益	111,636	<b>113,000</b>	1,363	1.2
	営業利益	16,882	<b>16,700</b>	△ 182	△ 1.1
不 動 産	営業収益	66,730	<b>66,000</b>	△ 730	△ 1.1
	営業利益	8,290	<b>6,000</b>	△ 2,290	△ 27.6
流 通	営業収益	195,247	<b>190,000</b>	△ 5,247	△ 2.7
	営業利益	3,329	<b>2,500</b>	△ 829	△ 24.9
ホテル・レジャー	営業収益	242,695	<b>250,000</b>	7,304	3.0
	営業利益	4,098	<b>3,800</b>	△ 298	△ 7.3
そ の 他	営業収益	7,951	<b>9,000</b>	1,048	13.2
	営業利益	695	<b>600</b>	△ 95	△ 13.7
調 整	営業収益	△ 23,135	△ <b>23,000</b>	135	
	営業利益	411	<b>400</b>	△ 11	
連 結	営業収益	601,126	<b>605,000</b>	3,873	0.6
	営業利益	33,707	<b>30,000</b>	△ 3,707	△ 11.0

# 【参考】近畿日本鉄道（第2四半期累計期間）

(単位：百万円)

	2019/3期 第2四半期実績	2020/3期 第2四半期予想	増 減	増減率(%)
輸送人員（千人）	292,997	<b>298,280</b>	5,283	1.8
定期外	115,837	<b>117,788</b>	1,951	1.7
定期	177,160	<b>180,492</b>	3,332	1.9
営業収益（百万円）	77,594	<b>79,000</b>	1,405	1.8
旅客収入	74,287	<b>75,752</b>	1,464	2.0
定期外収入	49,957	<b>50,969</b>	1,011	2.0
定期収入	24,329	<b>24,782</b>	452	1.9
運輸雑収等	3,307	<b>3,248</b>	△ 59	△ 1.8
営業利益（百万円）	15,588	<b>15,300</b>	△ 288	△ 1.9

## お問合せ先

### 経理部

Tel : 06-6775-3465

Fax : 06-6775-3691

Mail : [ir-info@rw.kintetsu.co.jp](mailto:ir-info@rw.kintetsu.co.jp)